

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅢ	チーム名	CARY
タイトル	テレワーク導入による働き方の変化		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー			
研究計画内容	<p>日本ではオフィスワークが主流であるが、新しい働き方として「テレワーク」が注目されている。ICT を利用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方で、ワーク・ライフ・バランスの実現、人口減少時代における労働力人口の確保なども期待されている。</p> <p>平成 25 年 6 月に政府が「世界最先端 IT 国家創造宣言」の雇用形態の多様化とワーク・ライフ・バランスの実現において「2020 年には、テレワーク導入企業を 2012 年度(11.5%)比で 3 倍」とする政府目標が掲げられている。2019 年度には 20.2%の導入率であったのに対し、新型コロナウイルスの感染拡大により多くの人々がテレワークを強いられ、パーソル総合研究所の調査では、2020 年 4 月中旬における正社員のテレワーク実施率が全国平均 27.9%と、緊急事態宣言前と比べて倍増した導入率は上昇したが、それに伴い課題や問題点も浮き彫りとなった。</p> <p>新しい働き方として、これらを解消し上手く活用するためにはどのようにしたら良いのだろうか。私たちはこの課題に答えるために、まず、コロナ禍以前と現在の働き方の変化について把握する。次に、労働者側の視点として実際にテレワークを行った人へインタビューを行い、工夫したことは何か、今後もテレワークを継続すべきかを問う。また、企業側の視点として参考文献を用いて、人事評価の方法やセキュリティ管理について深く掘り下げる。</p> <p>研究の成果として、職種別のテレワークの適切な形態や安心してテレワークを行うためのセキュリティ管理について述べ、労働者と企業の双方が納得できるようなテレワークの活用方法を提案する。</p>		